

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『支えよう みんなの町を 税金で』

町田市立南中学校 3学年 海津 天音

「税金」という言葉を聞くと、多くの人は「お金を取られるもの」と悪いイメージがあるかもしれません。正直、私も調べるまではそう思っていました。しかし、税金は巡り巡って私達の暮らしを守っているのです。そのことを知った時、私の中の税に対するイメージが大きく変わりました。後に具体例を提示します。

税金といえば、皆さんは何が思い浮かびますか？例えば、私達中学生が毎日通っている学校や図書館、体育館などは税金で用意されています。教科書も無料で手に入るのは税金が使われているからです。普段はあまり意識していない所に目を向けると、私達はこうして税金に勉強する環境を整えてもらって学習ができていることに気がつくしました。また、学校や勉強する環境以外にも税金は身の周りを支えてくれていました。その例として、三つ取り上げます。一つ目は、ごみの収集、処理です。毎週来て、「ゴミ」を運んでもらっています。もし「ゴミ」がなければどうなるでしょうか。想像してみましよう。町中は「ゴミ」だらけになり、空気は汚れて虫も発生するのではないのでしょうか。そうなるってしまっただけは気持ち良く過ごすことができません。ごみ収集は当たり前のように暮らしを大きく支えてくれています。二つ目は、街灯

や信号機の電気代です。夜、暗くなった時に道を明るく照らしてくれています。安全に移動するために明かりは必要不可欠です。信号機も、車や人の事故が起こらないよう、交通整備しています。それが使えなくなってしまうえば交通事故は多発し、安心して運転ができなくなってしまうます。そして、三つ目は、災害対策です。避難所の毛布や食料、非常用の水やトイレの準備も全て税金です。日本は他の国と比べて災害が多いので、災害対策がされていなければもしもの時に何百人、何千人もの人が命を落としてしまう可能性があります。そのような事態を税金が防いでいます。

私は税金について調べて、税金は「取られるお金」ではなく「みんなで支え合うお金」だと考えるようになりました。部活でいえば部費を出し合ってボールやネットを買うようなものです。誰か一人ではなく全員で分け合い、支え合う、税金と同じです。社会全体をみんなで支え合っている仕組みだと思っています。これから私も成長し、働く立場になれば今度は税金を納める立場、社会全体を支える立場になります。その時、「ただ仕方なく払うもの」と考えるのではなく、「社会の一員として支えるもの」と考えたいです。そして、今私が学習し、食事をし、生活できているのは既に働いている人々がいて、税金を納めてくれているおかげだということを忘れずにいたいです。私も次の世代へ安心できる環境をつないでいけるよう、将来はしっかりと納税し、社会を支えられる柱になりたいです。